

# 日本海事新聞社

3436-3221 FAX(03) 3436-6553  
3436-3222 FAX(03) 3436-3247  
3436-3223 FAX(03) 3436-3273

### 支 局

関西支局 〒530-6109 大阪市北区中之島 3-3-23 ☎(06)6448-3691 FAX(06)6448-7749  
静岡通信部 〒410-0012 沼津市岡一色 101-40 ☎(055)921-4072 FAX(055)926-2111

## 情報 待ってます!

ニュースや写真、ご意見、投稿(800字程度)など、  
情報をお寄せください。 [tokyo@jmd.co.jp](mailto:tokyo@jmd.co.jp)

④本牧埠頭では本船荷役中③ベイブリッジを通過②ハイブリッド式タグボート「翼」に乗船



## タグボートで「湾内ぐるり」 体験乗船会を初企画

海風に吹かれ、タグボートで港をぐるり。横浜港で一般参加者を募ったタグボートの体験乗船会が5月19日から始まった。普段乗ることができない船での港巡りに、参加者らは大喜び。崖壁で貨物船が荷役する中、湾内はクルーズ船やバージが行き交うなど、国内有数の港湾のありのままの姿がそこにあった。

クルーズのゆたか倶楽部が初めて企画。ウイングマリタイムサービスマリンのハイブリッドタグ「翼」に乗船し、横浜港湾内を約1時間かけて巡った。

船は午前10時に大さん橋を出发。まずモーター推進、その後ディーゼルエンジンに切り替え、最先端のハイブリッド機関の性能を紹介した。その後、山下埠頭からベイブリッジをぐるり横浜航路を南下。本牧埠頭ではコンテナ船が

### 横浜港

寄港中で、荷役風景を参加者は写真に収めていた。

乗船中は職員からタグボートの役割や操船方法などの話を聞いた。大黒埠頭南のY1錨地では、備え付けの放水銃のデモンストラーションも実施。美しい水のアーチが光に照らされ、水しぶきがキラキラとまぶしくきらめいた。

大黒埠頭を一周する形で鶴見航路を北上、自動車専用船を横目に大黒大橋を抜けて、再度大さん橋へ。日本郵船の大型客船「飛鳥II」や海上保安庁の大型巡視船「あきつしま」も停泊中で、体験乗船に花を添えた。

これまで客船のクルーズなどに参加し、船旅が大好きという女性参加者は「興味本位だったけれど、楽しい。乗ってよかった」。主催会社は今後もタグボートの体験乗船企画を実施していくという。